



巨大戦艦「大和」が残したメッセージ

開館時間

9:00~18:00

- 展示室入館は17:30まで
- ライブラリー / 9:00~17:00

休館日

火曜日

- 火曜日が祝日の場合は翌日休館
- 4月29日~5月5日、7月21日~8月31日、12月29日~1月3日は無休

観覧料

一般.....500円
高校生.....300円
小・中学生.....200円

一 般 400円
団 体 (20名以上) 高校生 200円
小・中学生 100円

歴史を未来へ

戦艦「大和」を建造した東洋一の軍港、日本一の海軍工廠のまちとして栄えた呉。戦後は、戦前から培われてきた技術が新しい技術と結びつき、世界最大のタンカーを数多く建造するなど、日本が戦後約10年ほどで世界一の造船国へ発展する一翼を担いました。その後、有数の臨海工業都市として発展し、地域の産業発展のみならず、日本の近代化に大きく貢献しました。「呉の歴史」はまさしく、明治以降の日本の近代化の歴史そのものなのです。呉市海事歴史科学館「大和ミュージアム」は、「呉の歴史」と、その近代化の礎となった造船・製鋼を始めとした各種の「科学技術」を、先人の努力や当時の生活・文化に触れながら紹介します。また、日本の歴史と平和の大切さを認識していただくとともに、科学技術創造立国を目指す日本の将来を担う子どもたちに科学技術のすばらしさを理解していただき、未来に夢と希望を抱いていただくことのできる「呉らしい博物館」とすることにより、地域の教育、文化及び観光等に大きく寄与することを目的とします。



- J R / JR広島駅からJR呉線 快速約32分 JR呉駅から徒歩 約5分
- 自家用車 / 広島方面から広島呉道路(クリアライン)約20分 呉ICから約5分
山陽自動車道(広島東JCT)から広島高速-広島呉道路 約30分 呉ICから約5分
山陽自動車道(高屋JCT)から東広島・呉自動車道 約40分
大和ミュージアム駐車場・65台(1時間100円)
大和ミュージアム立体駐車場・220台(1時間100円)
- バ ス / 広島バスセンターからJR呉駅前まで約46分 JR呉駅から徒歩約5分
広島空港からJR呉駅前まで約60分 JR呉駅から徒歩約5分
- フェリー / 呉中央桟橋から徒歩 約1分



展望テラス

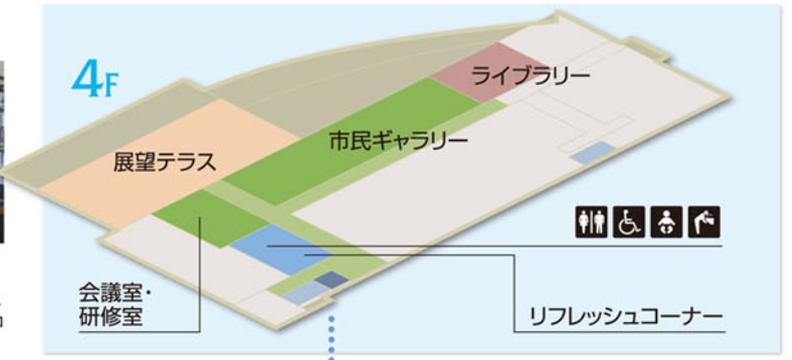
かつて戦艦「大和」を建造したドック跡や呉湾を行き交うフェリーなどを一望できます。



ライブラリー

船や歴史に関する資料を見ることができるほか、写真や図面、1F展示室の解説映像などをパソコンのデータベース検索により見ることができます。

4F



C 「船をつくる技術」展示室

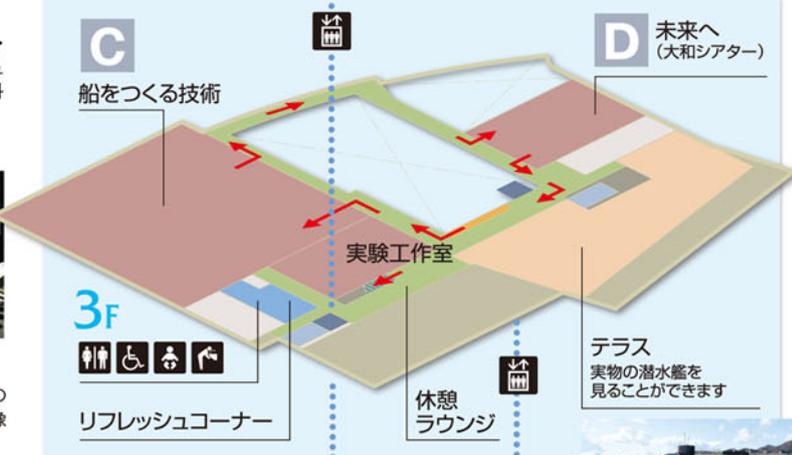
船を中心とした科学技術の原理を体験・体感を通してわかりやすく紹介します。操船シミュレーターのほか、波の性質を学べる実験水槽、科学の不思議を体験するなど楽しく学べます。



D 「未来へ」展示室

地球や宇宙に関する科学技術のこれから、名誉館長等による未来へのメッセージを紹介します。大和シアターでは、JAXAなどの映像資料や新CG映像による戦艦「大和」の建造プロセスなどを上映します。

3F



B 大型資料展示室

零式艦上戦闘機や人間魚雷「回天」、九三式魚雷などの貴重な実物資料を展示しています。



零式艦上戦闘機六二型



特殊潜航艇「海龍」(後期量産型)



A 「呉の歴史」展示室

明治22(1889)年に呉鎮守府、明治36(1903)年に呉海軍工廠が設置されてから、東洋一の軍港として栄えた呉。史上最大最強の戦艦「大和」の建造計画からその技術、大和の辿った運命、沖縄特攻へ出撃した乗組員の遺書や遺品も展示。戦時下の市民生活や呉空襲の様子、戦後、平和産業港湾都市として復興し、世界的な造船のまちとして現在に至るまでの呉の歴史を、パネルと現存する資料で紹介しています。

大和ひろば

全長26.3メートルもある10分の1戦艦「大和」は、設計図や写真、潜水調査水中映像などをもとに、可能な限り詳細に再現。大和ミュージアムのシンボルとして平和の大切さと科学技術のすばらしさを後世に語り継いでいます。



ミュージアムショップやまと

大和関連のおみやげがいっぱい

1F



入船山記念館

〒737-0028 呉市幸町4番6号
TEL0823-21-1037 <http://www.irifuneyama.com>

大和ミュージアムから徒歩10分

入船山公園内には、国指定重要文化財「旧呉鎮守府司令長官官舎」を中心に旧呉海軍工廠塔時計・旧東郷家住宅離れ・郷土館・歴史民俗資料館(近世文書館)などが点在し、近代日本黎明期を感じることのできる呉の街の中でもシンボルとして欠かせない場所になっています。



旧呉鎮守府司令長官官舎



旧東郷家住宅離れ



洋館部の室内(金唐紙)